

～今月の花木～



ザクロ
石榴

ミソハギ科・落葉小高木・地中海沿岸～ヒマラヤ
子供のころ、秋になると、ほとんど食べるところ
のない甘酸っぱい実を食べた記憶が蘇る



👉 上部のツツジと下部のサツキツツジは花後すぐの刈込がポイントです

春から夏にかけては花を咲かせている樹木を多く見かけますが、その元となる花芽は、いつ頃からつくられているのでしょうか。

花芽分化の話

植物の成長点(茎などの頂部にある細胞の分裂組織)が将来花になる芽(か)か、という、葉っぱになる葉芽(はめ・ようが)とは異なる芽です。

花芽がつくられる時期は植物の種類により異なり、花芽が形成される時期を花芽分化期といいます。日本ではサクラやツツジなど多くの樹種の花芽分化期は初夏の7月頃です。7月頃に分化した花芽は成長して翌年の春(2～6月頃)に咲きます。このように前年に花芽が分化して冬を越し翌年に咲くものを旧枝咲きといいます。また、今年の春から花芽が分化してその年のうちに咲くものを新枝咲きといい、サルスベリやムクゲが代表的ですが、旧枝咲きに比べると種類が少ないです。花が咲かない、少ないといった事がある場合、そもそも花芽の形成が無いか少ない、もしくは形成された花芽を剪定や刈込で落としてしまった事などが考えられます。また陽当たりが悪い、肥料でチッソ分が多いなどの要因で花つきが悪いことがあります。

花木をより美しく咲かせ楽しむためには、それぞれの樹木の生理的特性に理解が必要です。樹木の種類によって異なる花芽のつく枝の場所、時期を把握して花芽のつくる枝の発生を促し、花芽形成後は保全を考慮した適切な方法と時期に剪定や刈込などの手入れをするのが大切です。

「旧枝咲き」と「新枝咲き」

おおまかには開花期から類推して、春2月～6月に咲くものは「旧枝咲き」、7月～11月に咲くものは「新枝咲き」です



切戻し位置

翌年開花の花芽
発生位置

アジサイ(旧枝咲き)の切戻し剪定

放っておいても翌年花は咲きますが、株の拡大を抑制し翌年の花つきをよくするために行われる手入れとして、花がしおれたらすぐに花より2～3節下で剪定します。すると切ったすぐ下の芽が花芽になり、翌年この芽が新しく伸びて先端に花を咲かせます。

また、冬の間は丸く大きな花芽が目立つため、その芽を確認して剪定ができます。大きくなりすぎた株は12月～2月の落葉期に地際で半分程度もしくは全部切り取ると株が更新し、小さくすることが出来ます。全て地際で切り取った場合には、その年の開花は無く、来年度の開花となります。

旧枝咲き

初夏から夏に分化した花芽は年を越して翌年の春に咲きます。花芽分化後に剪定や刈込をする場合、花芽の喪失に気を使うタイプです。冬の花芽は割と大きくわかりやすいです。

- 落葉中高木・・・ロウバイ(花1～2月・花芽分化6月)、ウメ(花2～3月・花芽分化7月・短枝によく花芽がつく)、サクラ(花3～4月・花芽分化7～8月)、ハナミズキ(花4月・花芽分化7月)、フジ(花4～5月・花芽分化7月・短枝によく花芽がつく)、ヤマボウシ(花6月・花芽分化7～8月)
- 常緑中高木・・・ツバキ(花2～4月・花芽分化7月)、ギンヨウアカシア＝別名ミモザ(花3月・花芽分化8月)、トキワマンサク(花5月・花芽分化8月)
- 落葉低木・・・レンギョウ(花3～4月・花芽分化7月)、ユキヤナギ(花4月・花芽分化9月)、ドウダンツツジ(花4月・花芽分化7月)、コデマリ(花4～5月・花芽分化9月)、アジサイ(花6～7月・花芽分化9～10月)
- 常緑低木・・・ジンチョウゲ(花3月・花芽分化7月)、ツツジ類(花4～5月・花芽分化7月)、サツキツツジ(花5～6月・花芽分化7月)

新枝咲き

その年の春から夏に分化した花芽はその年のうちに咲きます。冬に花芽が無いタイプですので、冬に剪定や刈込をしても花芽に影響がなく、手入れの自由度が高いタイプです。

- 落葉中高木・・・サルスベリ(花芽分化6～8月・花7～9月)、ムクゲ(花芽分化6～8月・花7～9月)、ノウゼンカズラ(花芽分化6月・花7～8月)
- 常緑中高木・・・キョウチクトウ(花芽分化5～6月・花6～9月)、キンモクセイ(花芽分化7～8月・花9～10月)、サザンカ(花芽分化7月・花11～12月)
- 落葉低木・・・アナベル(＝アメリカアジサイ)※白い花のアジサイ(花芽分化5～6月・花6～7月※通常のアジサイとは異なり新枝咲き)、ハギ(花芽分化5～7月・花7～9月)
- 常緑低木・・・アベリア(花芽分化5～9月・花6～10月) ※夏に刈込をしても、寒くなる手前まで咲きつづける

主な花木の開花、花芽分化、剪定・刈込の目安

樹種\時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ツツジ類 (旧枝咲き・常緑)				開花		花後 刈込	花芽 分化			刈込(徒長枝のみ)		
サツキツツジ (旧枝咲き・常緑)					開花	花後 刈込	花芽 分化			刈込(徒長枝のみ)		
ドウダンツツジ (旧枝咲き・落葉)				開花	花後刈込		花芽 分化			刈込(徒長枝のみ)		
ウメ (旧枝咲き・落葉)	剪定	開花				実後 軽剪定	花芽分化				剪定	
コブシ・モクレン (旧枝咲き・落葉)	剪定(花芽確認)		開花	花後 剪定		花芽分化					剪定(花芽確認)	
ハナミズキ (旧枝咲き・落葉)	剪定			開花	花後 剪定		花芽分化				剪定	
サクラ類 (旧枝咲き・落葉)	剪定		開花				花芽分化				剪定	
サザンカ(新枝咲き) ツバキ(旧枝咲き)常緑		ツバキ開花			花後剪定	花芽分化					サザンカ開花	
アジサイ (旧枝咲き・落葉)	剪定(花芽確認)					開花	花後 剪定	花芽分化				剪定(花芽確認)
アナベル(アメリカアジサイ) (新枝咲き・落葉)		剪定			花芽分化 切戻し2度咲き可	開花						
フジ (旧枝咲き・落葉)	剪定(花芽確認)			開花		つる先端止め	花芽分化					剪定(花芽確認)
ハギ (新枝咲き・落葉)	剪定(地際で刈取り)				花芽分化			開花			剪定(地際で刈取り)	
キンモクセイ (新枝咲き・常緑)				徒長枝剪定		花芽分化		開花	花後剪定			
サルスベリ (新枝咲き・落葉)		剪定				花芽分化 切戻し2度咲き可	開花					
ムクゲ (新枝咲き・落葉)	剪定					花芽分化	開花				剪定	
アベリア (新枝咲き・常緑)	刈込				花芽分化 夏に刈込をしても寒くなる手前まで咲きつづける	開花				刈込		



人にも個性があるように樹木にも個性といった個性があります。こちらの向き合方次第で、相手からの反応は良くも悪くもなるようです。

一般的に樹形を整え樹木の骨格を決める剪定は、落葉樹は冬の落葉期(12月～2月)が適期です。常緑樹は春3～4月上旬、初夏6～7月上旬、秋9月～11月が剪定に適した時期で、真冬は木が痛み可能性が高く避けたい時期です。落葉・常緑共に新芽が伸びる4月下旬～5月と真夏に強い剪定は控えます。剪定や刈込の時期や方法以外にも、日照や水分の多寡、病虫害や肥料、気象条件などによっても花のつき方や生育に影響があります。

一方、新枝咲きの樹木は冬に花芽がついていないため、冬の剪定で花芽をとばす心配がなく、剪定の自由度が高いとされます。

旧枝咲きの花木(落葉性の花木が多い)は、花が終了したらなるべく早めに剪定や刈込をする「花後剪定」が基本的に良いとされます。花後とは花が終わって半月から1ヶ月以内の期間です。特にツツジの仲間は7月上旬位までにしっかりと刈込を済ませ、花芽分化後の刈込は年末前に徒長枝の刈込程度にしたいものです。そうしないと形成された花芽が、とんでしまいます。また、中高木の花後剪定では強剪定は控えます。

上の表の時期に剪定や刈込を実施すると花芽の喪失が少なく、多くの花を楽しむことが出来ます。

花を楽しむコツ